

創業五十周年のフジシン

藤井信輝顧問「認めていただけの一店うれしい」

広島に来て四年目、寝具の乾燥下請け制度を実現した。当時は、営業利益と経費がトントンで会社に金が残らなかった。そこで、売上の無く困っていた岡山・山口・鳥取・島根などの競合会社に「うちの仕事をすべて開放するからやってほしい」と持ち掛けた。元請け下請けの契約を実現後は、各社家を建てられるほどになった。だが、一斉に反旗を翻された。

取るのに一日十四時間かかる。それが八月月続いたが良くなった。そんなケースは珍しいと周囲が不思議がる。いつも思うのは、「みんなで勝つ」ということ。自分一人で人生の成功者足らんとしてみ叶わない。自分にかかわる人みんなが良くならねばと。そのために神様やご先祖が「もっと頑張れ」と思われたのかも知れません。

舟入店は、若い目線で考えたショールーム的存在にした。試し寝してもらおうペースもすっかり備えた。東京・銀座に出店しても恥ずかしくない店だ。ただし、従業員がその店を生かせなければダメですね。勉強が必要です。顧客がどんな日常生活をおくっているのかなど情報を得た上で、ニーズを満たす商品を勧めていく力が必

要。布団の好きな従業員がいる店は売り上げが高い。仕事に対する潜在意識が高いから。当社は、寝具や眠り、健康、人生、生き方に対する思いの強いお客様に来店していただきたい。良質の寝具やオーダー枕を買っていた

が、当社でメンテナンスして、長く使い続けていた。量販店や大型スーパーなどがひしめく。数多くの店が淘汰されていく現在で、認めていただけ

「共に学び、共に栄える」が経営理念。業績を良くしたいなら自分自身が変わらなければ。つまり環境です。汚い物には悪い虫が付く。職場環境を良くすること、自分の環境や考えをそういう場に出せる事が大切。羽ばたこう飛び上がろうという気持ちがないとね。

今後のフジシン像は、寝具専門店としての強み。価値ある商品の提供はもちろん、フジシンに任せたら安心」と感じてもらえる事業を考えている。来店頻度を上げていくためにも大切な特性を育てるつもりです。

昨年8月五十周年の節目、73歳の時に社長を譲った。従来からの従業員が今の社長を盛り立ててみんなできかに継承するかと考えた時、新しいドラマが生まれるんだと思う。

舟入店を大きくリニューアルしたのもその辺りがある。従来の布団店は店内に所狭しと商品を積み上げてたポリリウム感がステータス、いや、自己満足

役員つ毛布や敷きパッド、こたつふとんをはじめ、多彩な商品をそろえる。羽毛ふとん丸洗いや綿ふとん打ち直し・仕立替えもある。

問合は、フジシン 佐方店 ☎(0829)32・2333。

大きく羽ばたく礎になったと改めて今思う。五十年間でも忘れることのできない出来事だ。六年半前の2011年に食道がん末期と判った。翌12年に再入院。水を飲むこともできず、点滴で栄養を

創業五十一年の「大感謝祭」開催
フジシンが27日から10月27日(金)～11月2日(木)、「創業51周年大感謝祭」を開催する。

これから冬に掛けて



「共に学び、共に栄える」が経営理念。業績を良くしたいなら自分自身が変わらなければ。つまり環境です。汚い物には悪い虫が付く。職場環境を良くすること、自分の環境や考えをそういう場に出せる事が大切。羽ばたこう飛び上がろうという気持ちがないとね。

問合は、フジシン 佐方店 ☎(0829)32・2333。